

第15回 希望号 水上・草津・軽井沢

体に障害を持つ人たちが国内の観光地を巡る「希望号」(茨城新聞社・茨城新聞文化福祉事業団主催、団長・滝本政衛茨城新聞文化福祉事業団事務局長)が10月14～16日の2泊3日で実施され、東海村の障害者支援施設「幸の実園」の関係者36人を含む117人が秋の上州路・水上、草津、軽井沢などの旅を満喫した。

旅は、常磐線特急「フレッシュひたち」に使用されていた車両を貸し切りにして、小田部卓茨城新聞社長らの見送りの後、水戸駅を出発。群馬県みなかみ町の水上駅からバスで水上高原

のホテルに移動した。参加者はホテル周辺を散策して、高原の爽やかな空気を思いっきり吸い込んだ。

2日目は、同町の月夜野びどろパークで、グラスに模様を描く「サンドブラスト」に挑戦したほか、前橋市の赤城クローネンベルクでドイツ料理の昼食に舌鼓を打った。宿泊地となった草津町の草津温泉では、車いす利用者がかけ流しの天然温泉につかった。最終日は、長野県軽井沢町の軽井沢アウトレットで買い物を楽しみ、たくさんの思い出を心に刻んで旅を終えた。

明日への力 生み出す旅

ごあいさつ



茨城新聞社長
茨城新聞文化福祉
事業団理事長
小田部 卓

皆さまの支えに感謝

州路を楽しんでいただくとともに、草津ではボランティアの皆さんの協力を受けて、車いす利用の方をはじめ多くの皆さんに名湯を堪能していただきました。

この事業は貴重な浄財をお寄せいただき、また多くの県民の善意に支えられています。あらためて県民の皆さまに厚く御礼申し上げますとともに、今回、ご協力、支援をいただきました茨城県をはじめ関係諸機関、ボランティアの皆さまに心より感謝申し上げます、御礼のごあいさついたします。

INDEX

- 14面：楽しむ／草津温泉・赤城クローネンベルクほか
- 15面：支える／献身的にサポートするボランティア



★希望号

茨城新聞社と茨城新聞文化福祉事業団が主催する、障害を持つ人を対象とした国内旅行。海外旅行の「希望の翼」と原則1年おきに開催される。1984年、宮城県松島町への貸し切り列車の旅を皮切りに、東北、関東、関西、北海道、沖縄などへのツアーが実施され、今回を含めると延べ3324人が参加。ボランティアも多く加わっている。今回は「温泉に入りたい」という車いす利用者らの希望をかなえるために、宿泊先を温泉地にした。

企画制作・茨城新聞社営業局

主催：茨城新聞社・(公財)茨城新聞文化福祉事業団 後援：茨城県・県教育委員会・県市長会・県町村会・県医師会・県社会福祉協議会・県身体障害者福祉団体連合会・県身体障害者福祉協議会
県手をつなぐ育成会・県視覚障害者協会・県聴覚障害者協会・日本筋ジストロフィー協会県支部・県肢体不自由児者父母の会連合会・県心身障害者福祉協会 旅行企画・実施：近畿日本ツーリスト水戸支店

「愛の募金」を通して支援の手を



茨城新聞文化福祉事業団は公益財団法人として独立した財政運営を行っています。当法人の茨城における地域文化振興と社会福祉活動は、年間を通じて県民の皆さまや企業、団体などからお寄せいただいた「愛の募金」を基礎財源に行っています。

文化振興
助 成

高齢者・
障害者支援

交通遺児
支 援

災害時の
救援義援金

国際交流
事業助成



公益財団法人茨城新聞文化福祉事業団
〒310-8686 水戸市笠原町978-25茨城県開発公社ビル
TEL029-301-1833 FAX029-301-1834

希望胸に 一步踏み出す

●草津は2回目で、20年ぶりぐらいになります。本当にいい気持ちでした。(ひたなか市 鬼澤徳一さん)

●温泉は元気だった時以来。ぜひ入ろうと思って来ました。何とも言えない気持ちです。(水戸市 飛田捷彦さん)

い〜い湯だな♨

●硫黄のにおいが良くて、肌がつるつるになりました。温泉は10年ぶりぐらい。病気になる前から初めてです。感動しました。（水戸市 関紀代子さん）

●病気になる前から初めての温泉。気持ち良く入れました。ボランティアの皆さんに感謝。（常陸大宮市 大森利子さん）



今回の「希望号」の大きな目的の一つは、「本物の温泉に入りたい」という、車いすの方たちの願いをかなえること。それは2日目の草津温泉で実現した。

ホテルの協力で、「希望号」参加者のために、大浴場が一定時間貸し切りとなった。車いす利用者は待ちかねたように、ホテルに到着してすぐに客室から地下1階の大浴場へ移

その後脱衣所から車いすのまま湯船のそばまで行き、ボラントティアらの介助で、源泉掛け流し、広い浴槽になみなみとたたえられた「天下第一湯」にゆくりつかった。草津町中心部にある源泉の一つ、湯畑から引かれた温泉は、もうというい湯加減に調節されており、湯煙の中、皆の笑顔がはじけ、笑い声がこだました。

草津町のホテル大浴場



草津温泉 群馬県吾妻郡草津町にある温泉。日本三名泉に数えられる。国内有数の酸性泉で、皮膚病や神経痛、糖尿病に効果があるとされる。自然湧出量毎分約3万2300ℓは日本一。温泉街の中心に位置する源泉の一つ湯畑は、同温泉のシンボル。毎分約4000ℓのお湯が湧き出ていて、いつも湯煙を舞い上げている。長い板でお湯がながれ混ざる「湯もみ」と、その時に歌う草津節が有名。

「希望号」の列車 今回の「希望号」の旅は、「JR東日本で「フレッシュヒッチ」として使用されていたE653系電車（7両編成）が貸し切れられ、水上到着以降は観光バス4台で移動した。E653系電車は現在、羽越本線の特急「いなほ」に転換されているほか、常磐線の臨時列車にも使用されている。今回、両毛線や上越線を走るE653系電車を撮影しようとして、鉄道ファンが沿線に並んだ。

料理おいしい3日間

立ち寄った中に、石畳が少し歩きにくいところがありました。朝も夜も食事がおいしく、お風呂も素晴らしかった。楽しい3日間でした。また参加したいと思います。

(行方市 横井龍寛さん)

(行方市 横井龍寛さん)

味わう



赤城クローネンベルクでドイツ料理の昼食⇒前橋市



羊のいる牧場脇を通る(上)、羊と牧羊犬(下右)=赤城クローネンベルク、高原を散策する参加者ら(下左)=みなかみ町の水上高原

體 驗



グラスに模様を刻む||みなかみ町の月夜野びーどろパーク

参加者の声

新鮮だった列車の旅

列車での旅行は本当に久しぶりで、新鮮な気持ちになりました。食事もおいしかった。ボランティアさんたちの配慮があって、私たちは旅行ができます。草津でのピング大会は大いに盛り上がり、参加してよかったと思いました。(ひたちなか市 草池よし江さん)

心身がリフレッシュ

普段の生活から羽を伸ばし、色付く山々の景色を眺めながらの旅で、心身のリフレッシュが図れました。希望号に携わってくれたすべての方に感謝します。

（ひたちなか市 須藤賢一さん）

心も体もポッカポカ

ボランティアの方々の至れり尽くせりの介助のおかげで、心も体もポッカポカになりました。心から感謝しています。ありがとうございました。

(水戸市 渡辺玲子さん)

コップ作り思い出に

最初は不安だらけだったのですが、だんだんに溶け込めるようになりました。コップを作ったり、ストラップを買えたことがうれしかった。2日目の午後から雨で、ボランティアの方々は大変だったと思います。ありがとうございました。（坂東市 横島聡さん）

料理おいしい3日間

立ち寄った中に、石畳が少し歩きにくいところがありました。朝も夜も食事がおいしく、お風呂も素晴らしかった。楽しい3日間でした。また参加したいと思います。

(行方市 横井龍寛さん)

(行方市 横井龍寛さん)



2013年12月20日より
茨城空港発着 SKYMARK SKYMARK AIRLINES

スカイマーク米子便就航記念ツアー

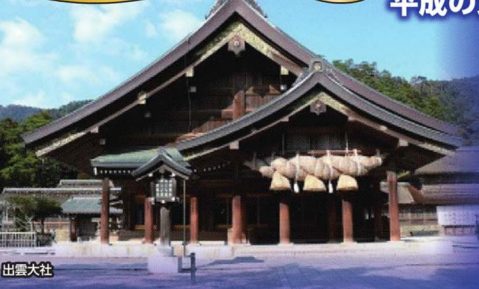


よなご(475)へGO!

出雲大社と山陰の名所を巡る旅

平成の大遷宮

47,500円~59,500円





出雲大社

鳥取砂丘

松江城

足立美術館

鳥取砂丘

出発日	旅行代金		
	4名1室	3名1室	2名1室
12月20日(金)	55,500円	57,500円	59,500円
12月23日(月)	47,500円	49,500円	51,500円
12月24日(火)			

1	スケジュール		宿泊ホテル	食事
	出発	到着		
1	茨城空港 17:35	米子空港 21:00	米子(シングル) ホテルハーベスト イン米子	夕(并)
2	ホテル 8:30	米子温泉 12:50	皆生温泉 皆生グランド ホテル	朝 昼 夕
3	皆生温泉 8:00	米子温泉 12:50	日本最大級の海岸砂丘 砂の美術館(入場料別途)も楽しめます 鳥取砂丘 9:50 11:20 鳥取砂丘 12:00 12:50 鳥取砂丘 12:00 12:50 鳥取砂丘 12:00 12:50	朝 昼

(社)日本旅行業協会正会員 観光庁長官登録旅行業第20号

近畿日本ツーリスト株式会社 水戸支店 ☎029-225-1015

後援 / 茨城新聞社・茨城空港利用促進等協議会

希望号

貸し切り列車で行く 上州路 ～水上・草津・軽井沢～



今年4月現在の県内のボランティア人数は12万7426人(団体所属人数+個人活動人数)。さらに、統計上カウントされない個人ボランティアも多数おり、2011年の東日本大震災以降、増加傾向にある。

「希望号」実施状況

回	実施年	行き先	参加人数
1	1984	松島	362人
2	1985	会津若松	413人
3	1987	鴨子峽	381人
4	1989	山形	430人
5	1991	志津川温泉	450人
6	1993	十和田	200人
7	1995	成田山・柳川	140人
8	1997	猪苗代・郡須	150人
9	1999	会津・郡須	70人
10	2001	大阪・神戸	120人
11	2003	横浜	113人
12	2005	仙台・松島	135人
13	2007	北海道	123人
14	2009	沖縄	120人
15	2013	水上・草津・軽井沢	117人

※1～6回と15回は貸し切り列車使用



リフトを使って観光バスに乗り込む＝群馬県みなかみ町のJR水上駅前



事前研修



車いすのまま自動販売機を利用＝県総合福祉会館

温かく見守り 寄り添う

階段のあるホテル出入り口から中庭へ＝群馬県みなかみ町の水上高原



「希望号」や、海外旅行の「希望の翼」は、ボランティアに支えられている。今回の「希望号」にはボランティア14人が参加。中には、「希望の翼」を含め10回以上参加している「常連さん」もいる。今回は列車とバスの車両ごとにリーダーを置き、ほかのボランティアの取りまとめに当たってもらった。そして、障害を持つ人たちの移動、食事、入浴、トイレなどの際に、全員が献身的に介助した。

旅行代理店の添乗員、ボランティアに加え、鉄道会社の駅員やバス会社の乗務員、観光施設やホテルの従業員らも親身になって気遣い、サポートしてくれた。

旅行に先立ち9月26日に、水戸市千波町の県総合福祉会館で第15回希望号の結団式と研修が行われ、ボランティアらは車いすを操作したり、実際に乗ってアイマスクを装着して階段の上り下りなどを体験し、本番に備えた。

また、県社会福祉協議会福祉のまちづくり推進部主任推進員で、今回の「希望号」のボランティアリーダーを務めた中川稔さんが講演し、「普段の生活の中でできることから実践していくことが大切」と指摘した。



車いすから座席に数人がかりで移す＝貸し切り列車の車内

温泉に入る車いす利用者を中央を介助＝群馬県草津町のホテル



息子の手をしっかりと握って歩く父親(左)＝長野県軽井沢町

参加者の声

ベストな介助を模索

障害があっても自分の力で生きていこうと頑張る方々に寄り添うことができました。言葉で言い表せない感動があります。どんな手助け、介助がその方にとってベストなのか、それを知るには相手をもっと知る必要があります。(ボランティアリーダー 中川稔さん)

健康に過ごせ何より

結団式でお会いできなかった方もいて、不安もありました。今回は、小さな傷の手当てや血圧測定などで済み、皆さん健康に過ごせていただけたのが何より。障害を持つ方たちが生活の中で何が自由なのか、それがいい経験になりました。(看護師 滑川静さん)

笑顔見れてうれしい

10年前からボランティアとして参加しています。今回は、お1人で参加された車いすの方に付き添い、行動を共にしました。水上、草津温泉のお風呂と一緒に入り、うれしそうなお顔、さっぱりしたお顔を拝見できて、気持ち良かったです。(境町 加藤枝枝さん)

喜びと楽しみ共有

ボランティアで初めて参加させていただきました。皆さんの笑顔に包まれ、とても貴重な体験ができました。病院や施設という枠を超えて、喜びや楽しみを共有できる活動をしていきたいと、さらに感じるようになりました。(千葉県柏市 鳥谷将由さん)

家族3人がビンゴ!

家族3人で参加しました。台風を心配しましたが、無事通り過ぎ、ほっとしました。2日目の夜はビンゴゲームで3人とも賞品をいただき、最高の思い出になりました。ボランティア、スタッフの皆さま、お世話になりました。(つくば市 広沢一さん)

◆3回目(の参加)になります。来年もまた参加できるよう頑張りたい(海老根士子さん) ◆たくさんの方と知り合いになって、輪が広がっていくのをうれしく思います(飯村春美さん) ◆旅行の前にいろいろ出合いがありました。次回参加できることを夢見しています(初見美佐子さん) ◆友だちに誘われて初めて参加しました。学ぶことがたくさんありました(守能麻紀子さん)

大事に育てよう 福祉の芽

平成25年 11月23日(土) 11:00～16:00

無料

福祉職場2013 フェスティバル

会場 水戸駅ビル エクセル本館6階 (エクセルホール) シネプレックス水戸(シネマ3)

●就職体験座談会
●映画上映 最強のふたり

水戸駅ビル エクセル本館(2階入口) 水戸駅ビル エクセルみなみ(3階入口)

●「福祉の店」販売コーナー 加工食品・手芸品など

【主催】福祉職場2013フェスティバル実行委員会
お問い合わせ先 社会福祉法人 茨城県社会福祉協議会 福祉人材・研修部
TEL:029-244-4544 FAX:029-244-4543

茨城県社会福祉協議会は300万茨城県民の幸せづくりと多くの彩りを輝かせるために皆様と共に歩み続けます

社会福祉法人 茨城県社会福祉協議会

会長 関 正夫
〒310-8586 水戸市千波町1918 茨城県総合福祉会館2階
TEL:029-241-1133代 FAX:029-241-1434 URL: <http://www.ibaraki-welfare.or.jp/>

日頃のご支援ご協力に感謝いたします。

引き続きご支援ご協力いただけますよう
合わせてお願い致します。

社会福祉法人 愛信会

指定障がい者支援施設
幸の実園 第二幸の実園

理事長 村上 忠夫

◆幸の実園
〒319-1102 茨城県那珂郡東海村石神内宿1213
TEL029-282-0644 FAX029-282-0433

◆第二幸の実園
〒319-1102 茨城県那珂郡東海村石神内宿2382-1
TEL029-306-0068 FAX029-282-1413